

## 業務の実績の説明

補助対象事業の名称（補助事業者名）	
ユーザー操作ゼロを目指した音声ガイド機の研究開発（エヴィクサー株式会社）	
補助対象事業の概要	
【研究開発の全般について】	
①補助対象事業の概要	博物館及び映画館、劇場などの施設を利用する聴覚障害者・視力が低下した高齢者向けに施設展示物や映像コンテンツを解説する音声ガイドシステムを開発する。現状、音声ガイドの再生には押しボタン式やスマートフォンでのインストールを要する形式が主であるが、聴覚障害者・視力が低下した高齢者にとってはハードルが高い。本システムでは、施設展示物や映像コンテンツの音声に同期して自動的に音声ガイドが再生するシステムを専用端末に搭載することで、聴覚障害者・視力が低下した高齢者、がハンズフリーで情報保障を受けることができるサービスの構築を目的とする。
②補助対象事業の目標	スマートフォンを不自由なく利用できる若者や健常者だけでなく、視覚障害者や高齢者がストレスなく音響通信によるサービスを楽しむことができる。
③研究開発期間	令和2年度～令和4年度
④補助金（前年度までの累計）	0千円
【令和2年度実施部分について】	
⑤令和2年度補助金	2754千円
⑥研究開発の実施内容	音響通信を利用した音声ガイド用電子回路とコンパクトな筐体を設計し、専用端末として音声ガイド端末を開発した。音響通信の信号処理アルゴリズムが動作する開発用ボードとその上で動作するソフトウェアの開発を行った。充電回路を試作し、充電方法、発熱対策についても検証し、対策を検討した。筐体、充電クレードルの設計、試作を行い、動作検証を行った。
【令和2年度実施部分における研究開発課題の成果や評価結果について】	
⑦研究開発の成果	動画に埋め込まれた非可聴の透かし音を受けて、対応する音声を再生できる音声ガイド専用機の試作品を作製することができた。 次年度は、現場での運用を考慮した機能の改良と、低コスト化のための量産化について開発を進める予定である。

⑧研究成果の応用状況、利用状況	マイクロプロセッサにより透かし音を受けて動作する小型端末の作製に利用される。		
⑨論文数	0件	⑩被引用論文数	0件
⑪特許申請件数（国内）	0件	⑫特許取得件数（国内）	0件
⑬特許申請件数（海外）	0件	⑭特許取得件数（海外）	0件
⑮受賞数（国内）	0件	⑯受賞数（海外）	0件